

【熱海観光局】2025年度宿泊者数、過去最高 319 万人突破 宿泊税導入初年度、見込みを上回る



熱海市は、2025年度宿泊者数が入湯税ベースで3,199,457人、宿泊税ベースで3,491,390人となったことを発表しました。入湯税ベースでは前年比+4.2%、コロナ禍前の2018年度比でも+3.4%となり、平成13年度以降で過去最高水準を記録しました。

また、2025年度が導入初年度となった宿泊税ベースでは約349万人となり、令和7年度の宿泊客数として見込んでいた340万人を約10万人上回る結果となりました。

■ 年間を通じて堅調に推移

2025年度は、多くの月で前年実績を上回り、年間を通じて堅調に推移しました。前年同月比では、2025年10月（▲0.8%）および2026年2月（▲1.9%）のみ減少となりました。主な要因として、花火大会開催回数の違いや、台風・大雪などの天候影響に加え、施設改装に伴う休館など、一時的な要因による影響が大きかったと考えられますが、全体への影響は限定的であり、年間を通じた宿泊需要は引き続き高い水準を維持しました。

■ 日本人旅行者を中心に全国動向を上回る宿泊需要、インバウンドも増加傾向に

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると、2025年度の全国延べ宿泊者数は前年比▲1.8%となりました。全国では日本人宿泊需要が弱含む一方、外国人宿泊需要が下支えする状況が見られています。一方、熱海市は都心からのアクセス性や温泉・海・花火などの観光資源により、国内需要を中心に前年比+4.2%と、全国動向を上回る結果となりました。

また、熱海市のインバウンド比率は、全国主要観光地と比較すると限定的ではあるものの、台湾や米国を中心に来訪は増加傾向にあります。今後は受入環境整備を進めながら、平日や閑散期を含めた誘客を推進してまいります。

■ 宿泊施設の新規開業・リニューアルも進行

2025年度は、市内宿泊施設の新規開業やリニューアルが相次ぎ、350室以上の客室が新たに増加しました。また、2026年度以降も、「ヴィラージュ熱海」や「TAOYA 熱海」など新たな宿泊施設の開業・リニューアルが予定されており、多様化する旅行ニーズに対応した宿泊施設の選択肢や滞在体験の幅がさらに広がります。

■ 「温泉リゾート熱海」として次の成長へ

熱海観光局では、2026 年度よりスタートした「熱海市観光基本計画 2026-2030」の実現に向け、取り組みを本格化してまいります。

熱海市観光基本計画で掲げる「変化しつづける温泉リゾート」の実現に向け、宿泊者数の増加のみを目指すのではなく、旅行者、地域事業者、市民、環境が調和しながら、地域全体の価値向上につながる観光地経営を進めてまいります。

また、都心から最短 29 分というアクセス性を活かし、旅行として構えるだけでなく、日々の延長にある「特別な日常」として、より気軽に訪れていただける存在を目指します。

熱海は、中心市街地だけでなく、泉、伊豆山、多賀、網代、初島と 6 地区それぞれに異なる魅力を持つ海辺の温泉リゾートです。懐かしさと新しさが調和するまちとして、自然や温泉、歴史・文化などの変わらない魅力を大切にしながら、訪れるたびに新しい発見があり、何度でも訪れたいまちを目指し、これからも魅力向上に取り組んでまいります。



熱海観光局について

熱海観光局は、日本有数の温泉地・静岡県熱海市の観光振興を担う一般財団法人です。2024 年 7 月に設立され、熱海商工会議所、熱海市ホテル旅館協同組合連合会、熱海市観光協会連合会はじめ、地域経済を支える各団体と連携して活動しています。温泉、海、山といった豊かな自然や、四季折々の花々や花火大会、文化・芸術イベントなど多彩な魅力を国内外に発信し、都心から最短 29 分で訪れられる温泉リゾートとして、懐かしさと新しさが調和する体験を提供しています。「愛され、選ばれる熱海へ。観光の力で未来をつくる」を目標に、地域と連携した持続可能な観光地づくりを進めています。

HP: <https://atami-tb.com/>

公式 Instagram: <https://www.instagram.com/atamitourismbureau/>

公式 Facebook: <https://www.facebook.com/atamitourismbureau>

公式 X: <https://x.com/atamikankokyoku>

公式 LINE: <https://lin.ee/OVZYNb4>